

安藤・間・東鉄・西武・須藤共同企業体

における事例

■ 事業所概要 ■

| | |
|-----------------|---|
| 事業所名 | 安藤・間・東鉄・西武・須藤共同企業体 |
| 従業員数 | 7名(他作業員 40～50 名) |
| 事業種別、事業内容 | 建設業、土木工事業、建築工事業 |
| 防災対策の特徴 | ◎緊急資材倉庫の設置 ◎現場周囲の斜面観測システムの設置 ◎社内安否確認メール実施 ◎AED の設置(現場事務所) |
| 所在地 | 川崎市多摩区生田5-30 (生田配水池内) |
| 連絡先 | 044-959-1388 |
| 本市との連携状況 | 防災協力事業所登録(平成25年6月) |
| 防災協力事業所としての協力内容 | 平常時 ◎地域の防災訓練への参加 ◎清掃活動等の地域活動への参加 災害時 ◎初期消火 ◎資機材(バール、ジャッキ)を用いた救出活動 ◎障害物の除去 ◎食料品(カップラーメン、レトルト食品、米等)の提供 ◎飲料水(缶・ペットボトル飲料)の提供 ◎医薬品・衛生材料・介護用品(家庭用医薬品、担架、生理用品、紙おむつ等) ◎日用品(タオル、軍手、雨具、懐中電灯)の提供 ◎衣類、身の回り品(服、防寒着、下着、タオル等)提供 ◎電気製品(テレビ、ラジオ、照明器具など)の貸出 ◎物資提供・貸出その他(土のう、トラロープ等) ◎その他・独自の取組(安否確認メール、企業内備蓄、BCP) |
| 企業・事業所URL | http://www.www.jp/hazama/ikuta/index.htm |

■ 事例内容 ■

防災対策のきっかけ

- ◎防災協力事業所登録を機に。
- ◎東日本大震災の被害状況も見て。

社員の安全確保策

- ◎震度5以上の地震が発生した場合、本社(赤坂所在)が全従業員にメールを送信し、従業員は、安否状況をメールで報告する。

建物等の破損防止策

- ◎ユニットタイプの仮設事務所の場合は、2階建てを禁止している。

企業内備蓄

- ◎カンパン48缶（現場事務所）

二次災害防止策

- ◎緊急資材の用意(土嚢袋、トラロープ、ブルーシート、水中ポンプ、発電機、毛布)

上記以外で行っている防災対策

- ◎現場事務所内電気100Vについて、太陽光発電を利用している。

防災対策マニュアルの作成

- ◎検討中

東日本大震災の際の被害状況、節電の取組等

- ◎現場の被害なし
- ◎職員、現場作業員は、16時に帰宅指示
- ◎事務所内節電の実施(エコ対応のエアコンの設置、事務所窓の二重サッシ使用、蛍光灯安定器をHFに交換、太陽光発電の設置、屋上緑化設置)

地域の防災訓練や会合への参加などの実績

- ◎検討中



A E D 設置



カンパン備蓄



太陽光パ 祉設置

屋上緑化